

## 令和5年度 第1回 静岡県立静岡城北高等学校 運営協議会

日時 令和5年6月3日(土)

### 出席者

#### 学校運営協議会委員

大高千尋(同窓会関係者)  
河原正哉(企業関係者)  
北川展裕(P T A・後援会関係者)  
小池理恵(学識経験者)  
杉山 誠(地域関係者)  
江原美紀(後援会副会長)

#### 静岡城北高等学校

校長 吉永卓志  
副校長 石原 忍  
教頭 山田光俊  
事務長 大坪淳子  
総務図書課 吉川契子

### 《次第》

- 1 開会
- 2 校長挨拶

本日はお集りいただきありがとうございます。着任3年目となります校長の吉永でございます。

本日、城北祭を実施しています。昨日6月2日午前中に展示会準備、午後発表会(市民文化会館)、6月3日展示会のスケジュールです。昨日はあいにく雨天のため、移動に苦労しました。本日の展示会開催が危ぶまれましたが、何とか本日実施できております。

学校運営協議会は、平成29年度の法改正により設置が教育委員会の努力義務となりました。高校での導入は始まったばかりであり、本校は先進的な取組をしているということになります。

生徒たちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、学校の教員だけでは対応しきれなくなっています。未来を担う生徒たちの豊かな成長のためには、地域・大学・企業等の方々との連携・協働が必要です。

そのため、地域の皆さんや専門家の皆さんの力をお借りして、学校と地域が「地域でどのような子供たちを育てるのか」「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有し、

「地域と共にある学校づくり」を進めていくのが、この学校運営協議会の趣旨でございます。

従来のように生徒が教室で教科書を開いて、教員がチョークで黒板に書いて教え、生徒が受け身で授業しているだけでは、今の世の中は通用しないのです。生徒が学校を飛び出し、世の中で起きていることから考え、生徒自身が地域の課題を見つけ出し、地域の一員として自分たちで解決していくことをとおして、社会の急激な変化に対応できる力をつける、探究的な学習が重視されてきています。

大学入試においても、知識を問う学力試験を課す入試が5割、残り5割は学校推薦もしくは自己推薦による「総合型選抜」でありその場面で探究的な活動が生きておられると思われたい。

高校時代は、まずは地域の課題を見つけ、自分達で解決する手法を学んでいきます。その際、地域の、皆様のお力をお借りし、場を提供していただき、時には専門家としてのお立場でご指導いただくことをとおして、微力ながら生徒たちの力で地域の皆様が少しでも暮らしやすくなるようなお手伝いができればよいと考えております。

卒業生、企業関係者、保護者、学識経験者、地域の代表とそれぞれの御専門のお立場でお集まりいただきました。どうかそれぞれのお立場から、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

今年度は、1年生グローバル科1クラス41人・普通科5クラス205人の新入生を迎え、全校生徒718名でスタートしました。男女比は男子約40%、女子約60%であり、これに対し教職員は、校長をはじめ教員、事務職員、非常勤講師、環境整備を担当する技能員など約70名の教職員スタッフで生徒達を支えています。

おかげさまで、この春の高校入試では、普通科は1.23倍の高倍率でした。グローバル科においても、定員40人のところ、48人の志願で1.20倍の高倍率でした。国際科からグローバル科に学科改善して3回目の入試となり、全学年がグローバル科としてそろい、その活躍ぶりは中学校に広く伝わってこのような高倍率になったと考えています。

普通科は静岡市内の生徒が多いのに対して、グローバル科は静岡市の外、島田市・焼津市・藤枝市・富士市など志太榛原から富士地区までの広範囲から通学しています。

本日はこの後、文化祭＝城北祭の校内展示をご覧ください。現在の在校生1～3年生は、新型コロナウイルスの影響で、中学高校時代のほとんどの行事が中止や縮小となっております。先輩達の伝統を受け継ぐ機会も乏しく、飲食物の販売等、少し制限のある中での校内展示となりますが、健気に頑張っておりますのでぜひ応援くださるようお願い致します。

### 3 城北祭見学

### 4 会長・副会長の選出

会長に北川委員、副委員長に大高委員が選出された。

### 5 本年度学校経営計画書（吉永校長）

文部科学省から、高等学校改革の一環として、各高校に求められる社会的役割を定めるよう「スクールミッション」の作成が求められました。

どの学校にも校訓があるが、それが、今どきの中学生にわかりにくく、わかりやすくするために作られました。

本校は、「グローバル教育を推進する普通科・グローバル科併置の伝統校として、広い視野で地域の課題を発見し解決する探究活動を通して、将来の Shizuoka を支え、行動する人材の育成を目指す。」と決めました。

この中にキーワードがいくつかあります。

「グローバル教育」。県内 89 の公立高校に 3 つしかない「国際科」を持つ本校は、令和 3 年度からグローバル科に学科改善しました。地域の中にある地球規模の問題を解決する取組に力を入れています。

次のキーワードは「伝統校」です。本校は明治 36 年に静岡県立の高等女学校として開校し今年 120 周年を迎えました。

そして「広い視野で地域の課題を発見し解決する」が、冒頭でお話した地域連携を意味しています。静岡にも、世界に発信している企業があります。地元で地域の課題を解決できる生徒の育成を目指します。

スクール・ミッション・学校教育目標の達成に向けて、「入口」から「出口」までの教育活動を一貫したものにまとめ直し、継続性のある教育活動を担保するために、3 つの「スクール・ポリシー」を定めています。

まず卒業までにこういう生徒を育てたいという「グラデュエーション・ポリシー」（「失敗をおそれずに取り組む人」を育てたい）、そのために在学中にこういう学びをするという「カリキュラム・ポリシー」、そして、本校が求める生徒（中学生）をあらわした、このような生徒に入学して欲しい、という「アドミッション・ポリシー」を決めました。

スクール・ポリシー具現化の柱は以下の通りです。

- ・先生方による「授業改善」、生徒による「学習改善」。
- ・一人一台端末を生徒に使わせる学習。
- ・城北スマイルプロジェクトによる地域連携。
- ・生徒の自己有用感・自己肯定感を高めるため（生徒に）勇気づけの言葉かけ。自信をつけさせる「ボイスシャワー」。
- ・海外語学研修の再開。

なおこの後、「城北スマイルプロジェクト」、地域にある「グローバルな課題」について意見交換ができればよいと考えております。よろしくお願い致します。

6 城北スマイルプロジェクト（山田教頭）資料による説明。

7 男子の新制服（山田教頭）資料による説明。

8 学校の概況（山田教頭）資料による説明。

① 概況②進路③生徒の様子と部活動

9 意見交換

(1) 生徒への言葉かけ（ボイスシャワー）について（大高委員より質問）

校長

昨年度の終わりから職員へ呼びかけている。

江原委員

個の存在を大切に名前と呼ぶべきである。皆「さん」づけにして男女の区別をしないことは良い。

河原委員

転職してくる 20 代の社員のコーチング指導で、本校の生徒への指導との共通点を感じる。生徒が力を入れていることをほめると自信を持つ。

小池委員

学生の呼称は全員「さん」づけで呼んでいる。性的マイノリティーの存在もある。

大高委員

男子を「くん」づけする習慣は抜けない。

(2) 城北スマイルプロジェクトについて（校長より）

校長

テーマのご提案があればご意見をいただきたい。

杉山委員

近隣の「記念碑」や、徳川家康（臨濟寺・久能山東照宮）についてなど、地域に興味深い歴史がある。

城北生が地域の子供達の学習支援を行った実践の継続が課題。

小池委員

プロジェクトとして受け継いでいくものがあったとしても良い。120 年の伝統校ならではの歴史の伝承ができれば良い。

杉山委員

歴史を広めていくことは本校の魅力になる。

北川委員

箏曲部の取組はとても良いので続けて欲しい。

(3) 新制服の導入についての質問

制服のデザインと披露の日程について

(4) 委員からのご意見

大高委員

いろいろなところに目を向けて頑張ってもらいたい。

河原委員

子供を受け入れて伸ばしていくと良い教育効果が期待できる。

小池委員

トランスジェンダーの対応を考える必要がある。

杉山委員

高校生活で、先生から、答えを言った際言われたことが記憶に残り、自分が肯定できない経験がある。そういう経験をしている子を拾ってあげたい。

江原委員

お客様が入り明るさ・活気のある文化祭が見られたのは良かった。城北スマイルプロジェクトで社会に飛び出し自分が学ぶことを周囲とシェアする大切さ。様々な課題に取り組んでいただきたい。

北川委員

城北高校で、生徒が自ら役立つことを学び、社会に出て静岡を支える力になる。地元で健全育成会の活動を通して貢献できればと思う。

学校より

吉川

外部の方のご指摘は大切であると実感しました。

大坪事務長

ご質問のあった学校施設については県として、改築時に対応を始めている。

外部からの視点 良い時間をありがとうございました。

山田教頭

20年ぶりの本校着任。活気がある本校の生徒が城北スマイルプロジェクトなどで力をつけて伸びて行って欲しい。

吉永校長

話題となった名前の呼称について、人権について同感した。

城北スマイルプロジェクトでは、アイデア・ヒントを生徒に伝え、生徒が積極的に行き活動である。

今後とも応援をよろしくお願い致します。

10 閉会